第36回 日本医療薬学会年会

The 36th Annual Meeting of the Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences

メディカルセミナー15

共催セミナー

医療DXで深化する病診薬連携

～PHRが拓く、地域医療を変える薬剤師の新たな原動力～

日時
2026年11月22日(日)
12:00 - 13:00

会場
第14会場
ホテル金沢 4F エメラルドA

座 長

川上 貴裕 先生
金沢大学附属病院
薬剤部 副薬剤部長

演 者

兼重 晋 先生
福岡大学病院
薬剤部 教授 薬剤部長

つながる医療、ひろがる未来
For Better Community Healthcare

Kanagawa 2026

共催：第36回日本医療薬学会年会／TISI株式会社／東和薬品株式会社

第36回 日本医療薬学会年会

Kanagawa 2026



メディカルセミナー15

医療DXで深化する、病診薬連携

～PHRが拓く、地域医療を変える、薬剤師の新たな原動力～

講演要旨

少子高齢化の進行や医療従事者の地域偏在を背景に、持続可能な地域医療提供体制の構築が喫緊の課題となっている。こうした中、病院・診療所・薬局がそれぞれの役割を発揮しながら連携し、患者を地域全体で支える「病診薬連携」の重要性は一層高まっている。近年、ICTの進展や医療DXの推進により、これまで十分とはいえなかった医療情報の共有や多職種間の連携は、新たな段階を迎えつつある。

本講演では、PHR（Personal Health Record）の活用事例を紹介しながら、医療DXが病診薬連携にもたらす可能性について考察する。あわせて、薬局薬剤師からのトレーシングレポートを活用した情報共有やリフィル処方箋、電子処方箋に関する事例を取り上げ、病院薬剤師がこれらの情報を薬物療法の評価や継続的な患者支援にどのように活かすことができるかを整理する。

医療DXは、単なるデジタル化ではなく、患者情報を地域で共有し、薬物療法の質を高めるための基盤である。本講演を通じて、病院薬剤師の立場から、地域医療における薬剤師の職能発揮と、今後の病診薬連携の実践につながる視点を共有したい。

ご参加方法

本メディカルセミナーのご参加について

事前申込 または **当日整理券**

※事前申込の状況によっては、当日整理券の配布がない可能性がございます。

事前申込期間（予定）

2026年9月1日（火）～9月30日（水）

共催 第36回日本医療薬学会年会／TISI株式会社／東和薬品株式会社